

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	LD・ADHD等教育総論 [Educating Children with LD and/or ADHD]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	750148	授業形態	講義	単位数	1	配当学年	3年次		
教員氏名	瀬戸口 裕二				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP2(2) DP3(4)			
授業概要	<p>通常学校に在籍する、特別な教育的ニーズをもつ子どもたちが経験する困難を、その背景にある障害特性との関係で理解し、支援する視点を身につけることを目的とする。そこで、障害理解のための視点を示した上で、LD・ADHDを中心に、発達障害の定義と障害特性、および教育上のニーズと支援について、それぞれ概説する。また、制度転換から発生する新たな課題や問題点を整理し、制度設計の意義と展望を見通す。</p>								
関連する科目	知的障害児教育、自閉症等教育総論								
授業の進め方と方法	<p>前半の授業では、用語や様相の理解を促すよう、体験やビデオにより学びを深めます【知識・理解の獲得】。集中講義のため、限られた時間になりますが、空き時間や初日終了後に復習を中心とした課題に取り組むことで、理解が深まります。後半は事例を盛り込み、自ら支援案が考えられるよう実践的な内容を取り上げ、応用力につなげます。その際には実際に分析の練習もしてもらいます【汎用的技能の育成】。</p>								
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 発達障害と特別支援教育における対応のあり方</li> <li>2. 認知機能の諸相とその障害(障害特性)</li> <li>3. 学習障害(LD)の定義と教育上のニーズ</li> <li>4. 注意欠陥多動性障害(ADHD)の定義と教育上のニーズ</li> <li>5. 発達障害に応じた指導 ユニバーサルデザイン教育</li> <li>6. 障害特性に応じた支援の方法①:学習面の困難に対する支援の方法</li> <li>7. 障害特性に応じた支援の方法②:行動面の困難に対する支援の方法</li> <li>8. まとめ 定期試験</li> </ol>								
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1)発達障害を理解するための視点がわかり、説明できること</li> <li>2)LDの障害特性を理解しており、支援方法を考える手だてがわかること</li> <li>3)ADHDの障害特性を理解しており、支援方法を考える手だてがわかること</li> </ol>								
授業時間外の学修	<p>毎回の授業でグループディスカッションや発表などの多様な授業形態を展開します。そのためには、授業以前の準備が求められます。 授業では、前時の振り返りや前時以降の学習成果の発表を行うことを通して学習の進化をはかります。</p>								
課題に対するフィードバック	レポート課題を課す。レポートは添削後、コメントを入れて返却。			評価方法	授業での発言や提出レポートの内容(40%)、および最終試験またはレポート(60%)で総合的に評価する。最終試験においては、事項の暗記よりも、特別支援教育に関する理解の程度や問題意識を評価する。				
テキスト	必要に応じて資料を配付し、テキストは使用しない。								
参考書	上野一彦・花熊暁(編)『軽度発達障害の教育:LD・ADHD・高機能PDD等への特別支援』日本文化科学社 瀬戸口裕二編著『特別支援教育月めくりカレンダー』金子書房								
備考									